

西武文理大学

【長期ビジョン】

(基本方針)

西武文理大学は学園の理念、使命などを尊重し、本学が「新しい知の創造」および「時代の要請に応える人材育成」の拠点であり続けるため、現在に至るまでの西武文理大学の長所と短所および可能性を見極め、特に短所とされる課題を克服し、今後10年間の有るべき方向性について定める。

■Vision1 教育活動

- (1) きらりと光る魅力、かつ特色ある教育を行う大学の創造
- (2) サービス産業及び医療福祉両分野における人材の育成
- (3) 大学教育の質の保証体制を強化
- (4) ICT、デジタルを活用する教育の推進

■Vision2 研究活動

- (1) ホスピタリティ教育の深化と教育研究環境の整備

■Vision3 社会連携・貢献活動

- (1) 受験生から選ばれる大学、社会から信頼される大学の構築

■Vision4 大学ガバナンス

- (1) 大学ガバナンス並びに財政基盤の安定化

■Vision5 グローバル化

- (1) 地球規模課題に挑戦するグローバル教育研究体制の拡充

【長期計画】

(基本方針)

西武文理大学は学園の理念、使命などを尊重し、本学が「新しい知の創造」および「時代の要請に応える人材育成」の拠点であり続けるため、現在に至るまでの西武文理大学の長所と短所および可能性を見極め、短所とされる課題を克服するため、今後10年間の有るべき方向性について計画する。

■Vision1 教育活動

- (1) 社会変革をリードする新学部設置
 - ア 3学部体制とするべく教育内容を研究・精査
 - イ 10年以内に新学部の設置
- (2) 教育の質的向上へ内部質保証体制の継続
 - ア 年度毎の自己点検・評価による現状の認識
 - イ 長所と問題点の抽出

- (3)多様な学生を受け入れられる多世代学生寮の設置
- (4)授業におけるデジタルを活用した教育の推進
 - ア AI、ICT技術を活用した遠隔講義
 - イ 1人1台のタブレット配備
 - ウ Wi-Fi環境の整備
 - エ 教材をデジタル化してのリテラシー向上
- (5)既存の体育館・グラウンド等の改修
- (6)学生の学内滞在環境の整備
 - ア 図書館の改修(ハード面)
 - イ パソコンルームの改修
 - ウ カフェ、コンビニ、学習室の確保・拡充
- (7)1号館の改修・建替

■Vision2 研究活動

- (1)高齢化社会に対応したカリキュラム内容の割合の増加
- (2)サービス・イノベーションセンターの活動強化
 - ア 産学官連携事業の増加

■Vision3 社会連携・貢献活動

- (1)社会連携を重視した内容の創立30周年の成功
- (2)南大塚などの土地の積極的な活用
- (3)地域に貢献できる防火・防災体制の充実
 - ア 狭山市、狭山消防署と連携した有事の際の準備
 - イ 職員や学生の防火・防災に対する意識向上
- (4)国連SDGsの地球規模課題への挑戦

■Vision4 大学ガバナンス

- (1)学長室／IRを強化した組織運営の確立
- (2)定員確保、収入多角化、独立採算で黒字体質の定着
- (3)スクールバス増便などの柔軟な対応

■Vision5 グローバル化

- (1)グローバル社会を担う人材育成プログラム
 - ア 職員の国際交流
 - イ 交換学生の増加を目指した協定校を拡充

【第1次中期計画】

(基本方針)

本計画は、西武文理大学の長期ビジョンを実現するための第一次計画とする。本計画の策定は、長期計画実現のための布石と位置付けるものであり、令和7年度に向けた第二次中期計画に向けての方向性を決定づけるものである。

本学が「新しい知の創造」および「時代の要請に応える人材育成」の拠点になるべく

確固たる地位の構築を目的とする。

■Vision 1 教育活動

(基本方針)

教育の質の向上を目指すと共に魅力的なブランド力の創造で競争力を強化し、地域社会及び入学希望者から選ばれる大学を構築する。

(アクションプラン)

- (1) 2020年の大学認証評価の成功
- (2) 新入試制度に向けての入試改革
- (3) 全学共通（教養）科目の検討
- (4) サービス経営学部の改組及びカリキュラム再編
- (5) 学生情報一括管理システムの構築
- (6) 学修支援センターの設置
- (7) 「3つのポリシー（アドミッション・カリキュラム・ディプロマ）」の再検討
- (8) 入試日程、入試形態及び募集人数枠の検討で戦略的學生募集計画の実施
- (9) 奨学金・奨励金の見直しと充実
- (10) 魅力的なブランド力創造で競争力を強化
 - ア 校舎設備の充実
 - イ スポーツ施設の拡充
 - ウ 国内外の他大学との連携事業の推進
- (11) 初等教育から導入されるプログラミング教育を活かせるイノベーション教育の確立
- (12) 大学教育再生加速プログラム（高大接続）事業の推進
- (13) 学生の安定した就職先の拡充
- (14) 職員の職能開発システムの構築・実施
 - ア 職員の資質や職業倫理の向上
 - イ 他大学とのFD・SD連携

■Vision 2 研究活動

(基本方針)

研究活動の支援を図ることで、産学官連携事業と多岐に及ぶ研究活動の増強を推進する。

(アクションプラン)

- (1) 大学院の設立
- (2) サービス・イノベーションセンターの充実（産学官連携事業の推進）
- (3) 研究活動支援
 - ア 研究環境を整備
 - イ サバティカル制度の導入
 - ウ 学際研究の推進と成果の社会貢献
- (4) ホスピタリティ研究拠点の整備、研究への注力
- (5) 外部との共同研究の連携強化
- (6) 学術論文の質量共の増強及び研究成果の公表

- (7) 競争的資金の積極的獲得
- (8) 図書館の充実
 - ア 建物の改修
 - イ 蔵書の充実

■Vision3 社会連携・貢献活動

(基本方針)

地域社会のニーズに叶った貢献の在り方を施策し、人材の供給及び学修支援、共同プロジェクトの側面から地域貢献を積極的に推し進める。

(アクションプラン)

- (1) 起業家・経営者・研究者等の人材育成支援
- (2) 地域と連携した共同プロジェクトの展開
- (3) 地元からの入学者増並びに、地元企業・自治体等への就職者増
- (4) 地域や産業構造の変化や新たな学修ニーズに対応した生涯学習機能の強化
- (5) 地域の社会人・高齢者対象の履修プログラムの新設
- (6) 同窓会の組織活性化
- (7) T J U P など大学間での協働地域貢献活動への積極的参加
- (8) 多世代コミュニティセンターの開設

■Vision4 大学ガバナンス

(基本方針)

教学マネジメント体制を構築するために、学長室の強化／I R、企画政策部門の設置を推し進め、学長のリーダーシップのもとに強固なP D C Aサイクルを実現する。

(アクションプラン)

- (1) 学長室の強化／I R、企画政策部門の設置
- (2) 防災・防犯など危機管理体制の強化
- (3) 経営の透明性の確保と財政問題の克服
- (4) 寄付の強化と収益活動の推進
- (5) 事務のシステム化並びにペーパーレス化
- (6) 教育目標の達成と教育の質向上を目指した内部質保証体制の整備
 - ア 年次自己評価書の作成
 - イ P D C A サイクル体制の確立
- (7) 情報発信力も含め、情報広報戦略の再検討

■Vision5 グローバル化

(基本方針)

グローバル社会を意識した教育の質のレベルアップを図るため、教職員のF D ・ S D を強化すると共に教育プログラムを新設し、グローバル社会に対応したキャリア支援を実現する。

(アクションプラン)

- (1) 留学センターの設置

- (2) グローバル化に対応した教育プログラムの新設
- (3) 国際連携の強化
 - ア 職員の国際交流
 - イ 交換学生の増加を目指した協定校の拡充
- (4) 国内学生のアウトバウンド留学（本学から海外大学への留学）の拡充
- (5) グローバル社会に対応したキャリア支援

以上